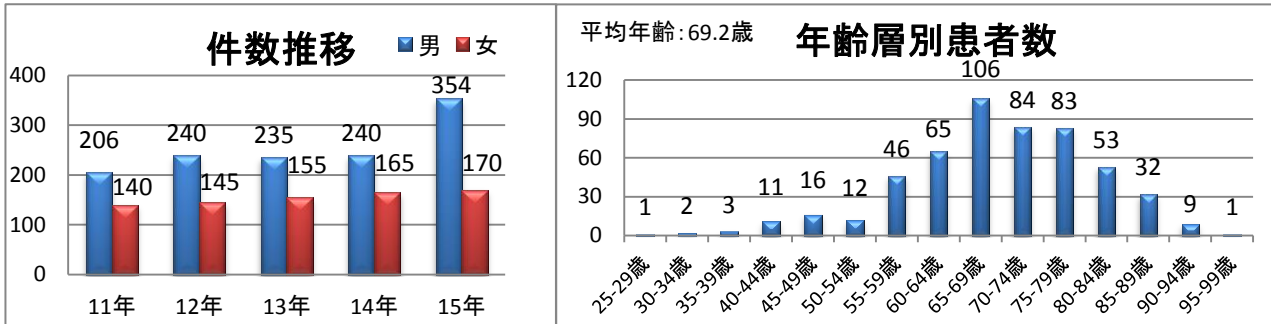


Ⅲ. 2015年集計＜部位別＞

1. 大腸



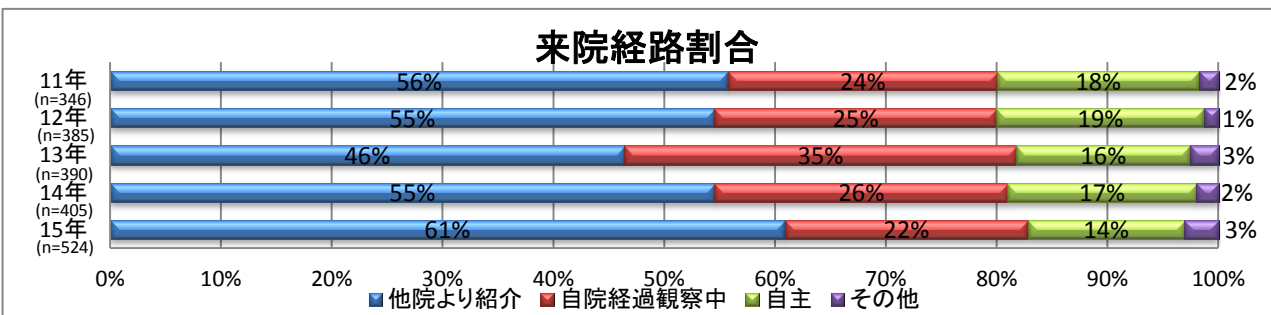
件数は15年の増加が著しく、男性の件数が多い。年齢層は60～70歳代が特に多い。

主な紹介元

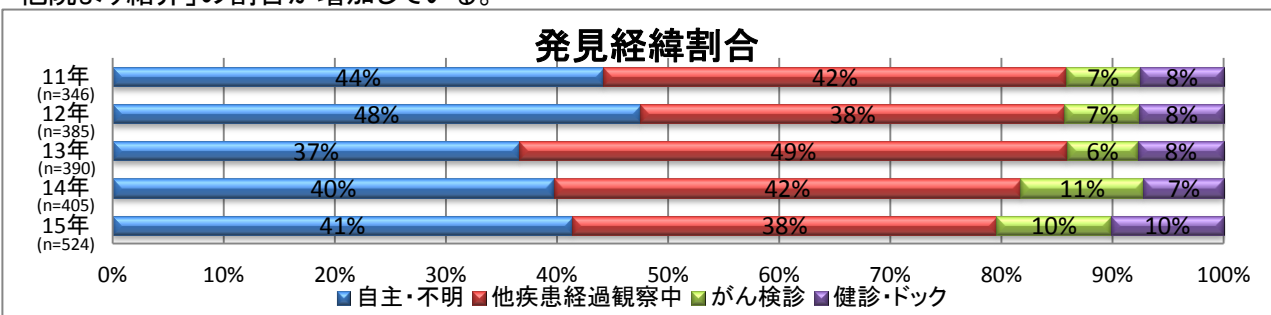
施設名	11年	12年	13年	14年	15年	計
かなもり外科胃腸科 肛門科クリニック	27	34	24	27	41	153
手稲家庭医療クリニック	2	8	3	8	19	40
上原内科クリニック	8	11	7	6	18	50
富丘まごころ内科 クリニック	7	3	4	6	10	30
癒しの森内科・ 消化器内科クリニック	1	4	5	4	9	23

主な紹介先

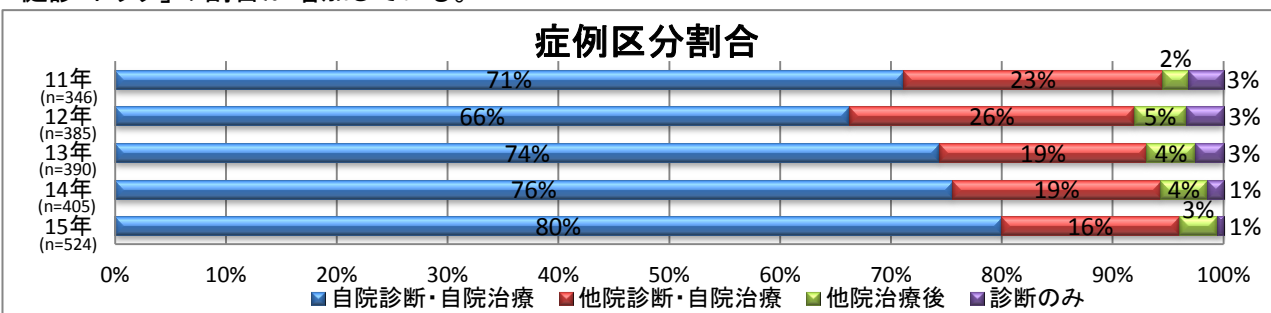
施設名	11年	12年	13年	14年	15年	計
札幌道都病院					1	1
静和記念病院					1	1
石狩病院					1	1
KKR札幌医療センター 斗南病院	4	4				8
北海道大学病院	2		1	1		4
手稲いなづみ病院	1		1	1		3
恵佑会札幌病院		1		1		2



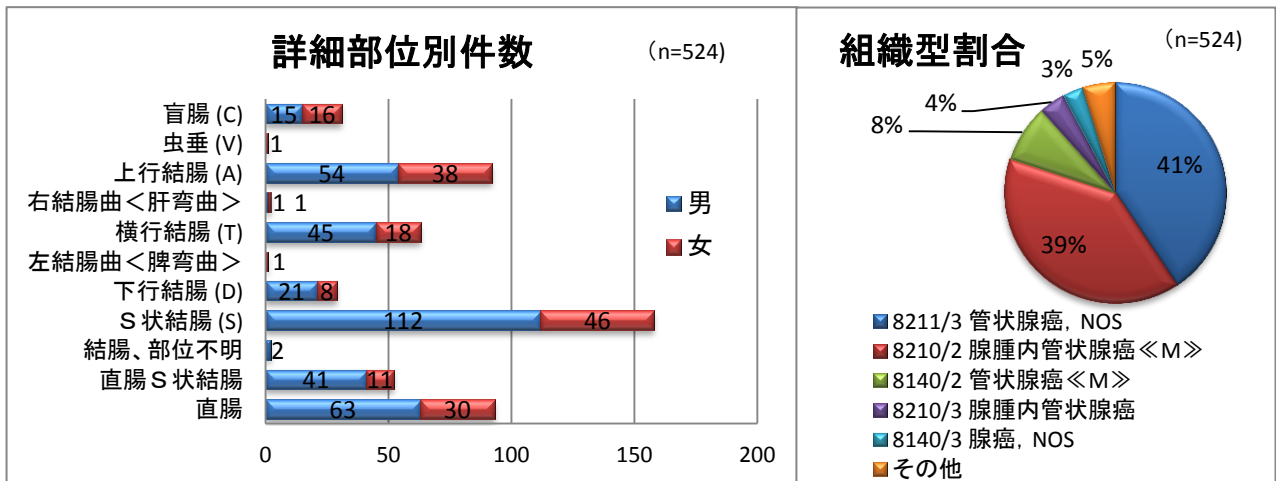
「他院より紹介」の割合が増加している。



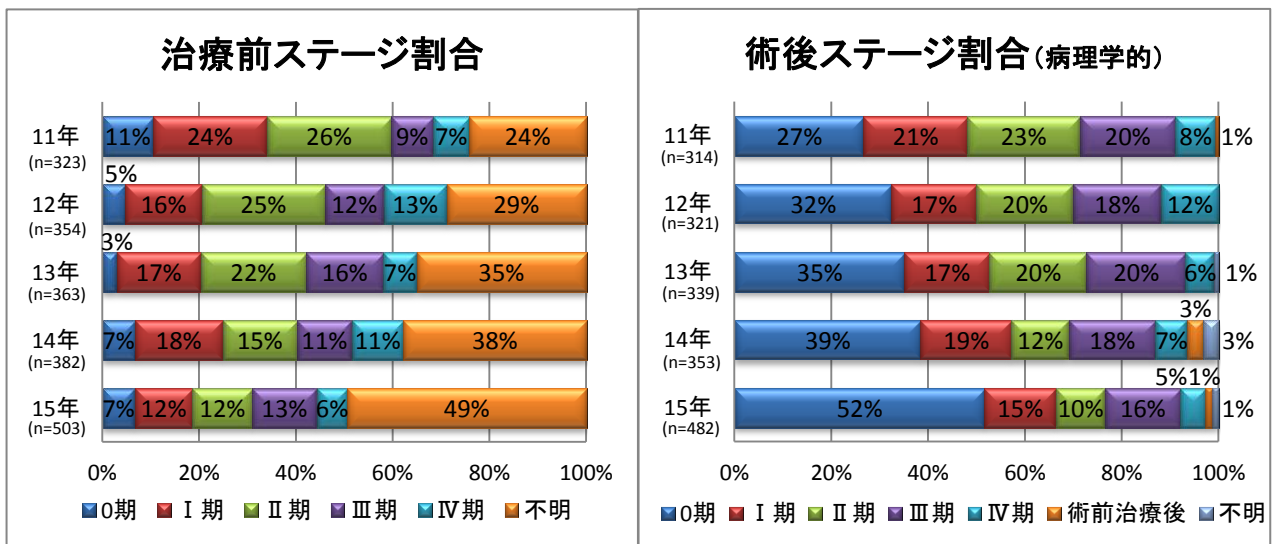
「健診・ドック」の割合が増加している。



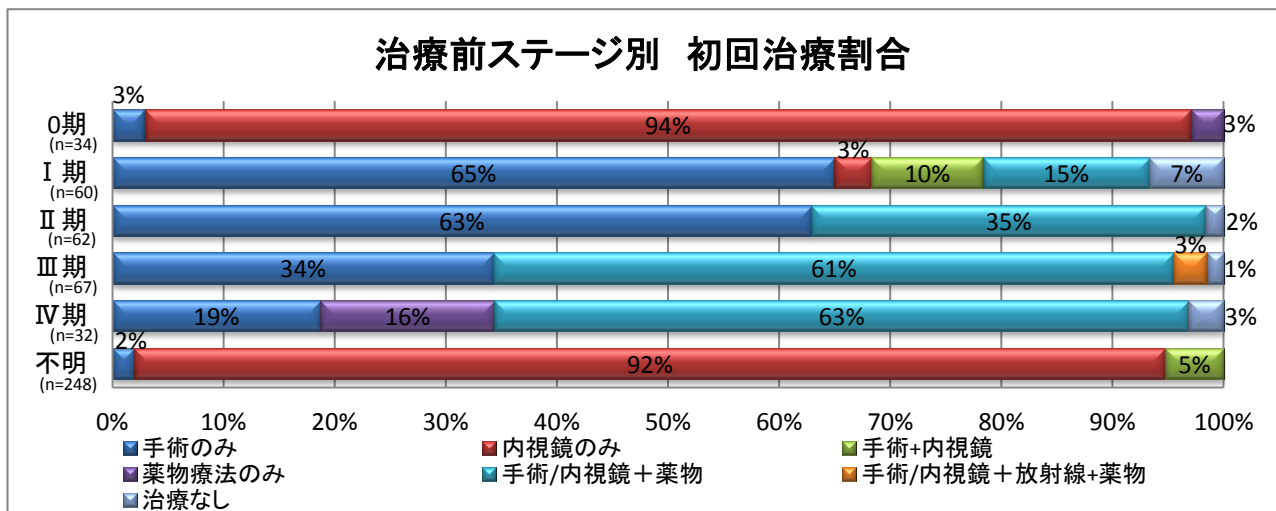
「自院診断・自院治療」の割合が年々増加している。



詳細部位は「S状結腸」の件数が特に多い。
組織型は「腺癌」が割合の9割以上を占めている。



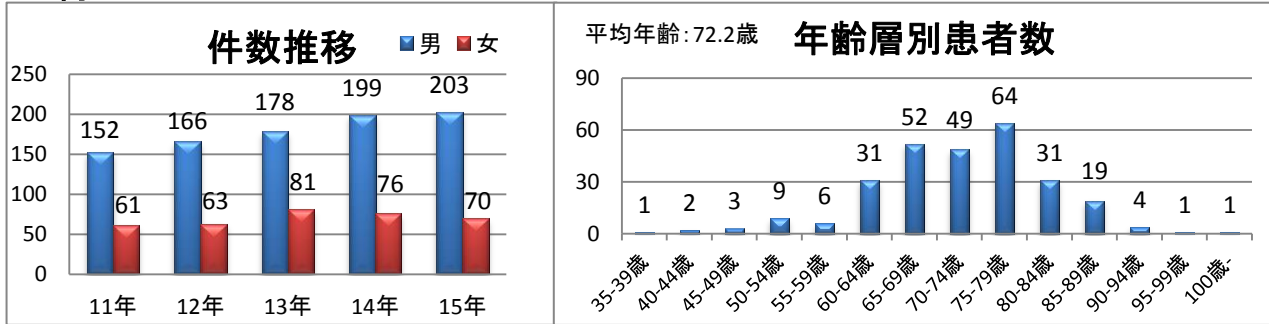
治療前ステージは「不明※」の割合が年々増加しているが、15年では特に高い。
術後ステージは「0期」の割合が高い。
※良性の診断（ポリープ・腺腫等）にて手術を行い、病理結果で悪性と診断された症例が含まれる。



0期は「内視鏡のみ」が9割以上を占めている。I期・II期は「手術のみ」、III期・IV期は「手術/内視鏡+薬物」の割合が高い。

Ⅲ. 2015年集計＜部位別＞

2. 胃



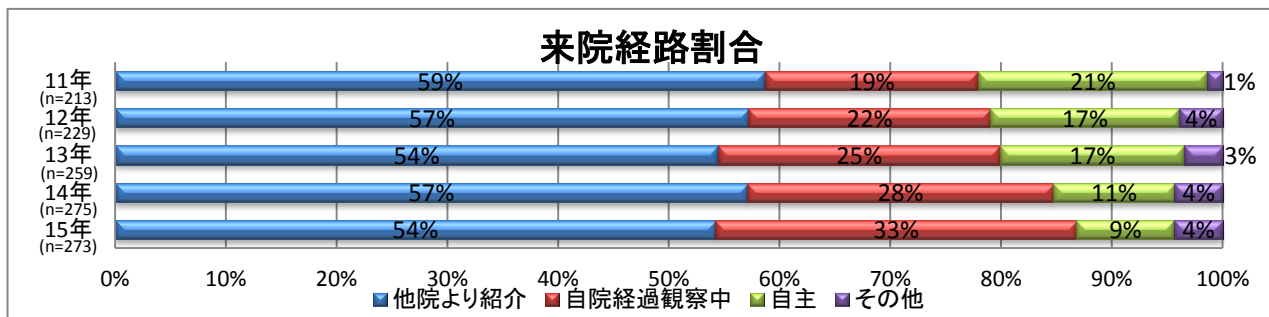
件数は年々増加しており、男性患者が多い。年齢層は60～80歳代が特に多い。

主な紹介元

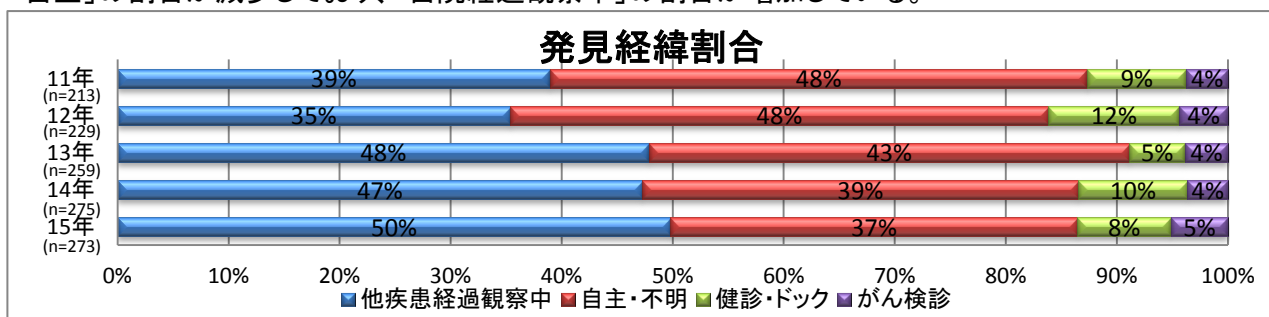
施設名	11年	12年	13年	14年	15年	計
倶知安厚生病院	4	6	9	4	10	33
富丘まごころ内科クリニック	3	3	3	6	7	22
手稲家庭医療クリニック	1	9	3	4	6	23
石狩病院	3	5	2	7	6	23
かなもり外科胃腸科肛門科クリニック	3	3	1	2	6	15
西成病院	2	4	2	3	4	15

主な紹介先

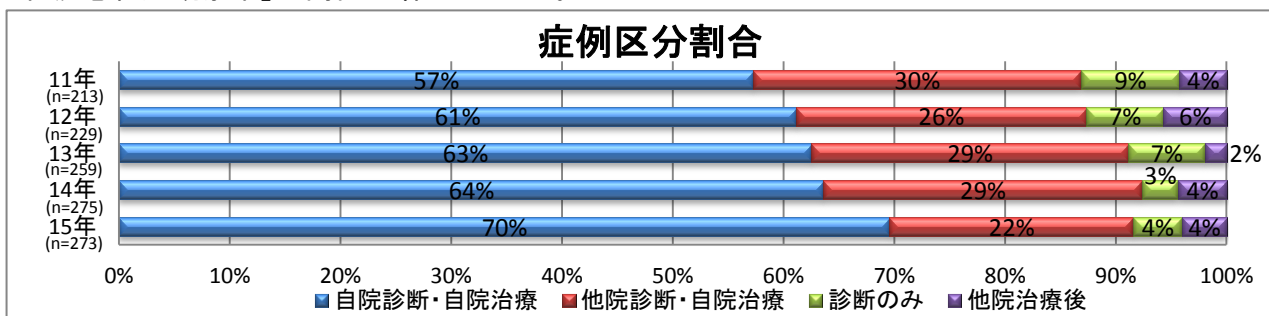
施設名	11年	12年	13年	14年	15年	計
石狩病院		1			2	3
手稲家庭医療クリニック			1	1	1	3
札幌ひばりヶ丘病院					1	1
札幌厚生病院					1	1
札幌秀友会病院					1	1
禎心会病院					1	1
富丘まごころ内科クリニック					1	1



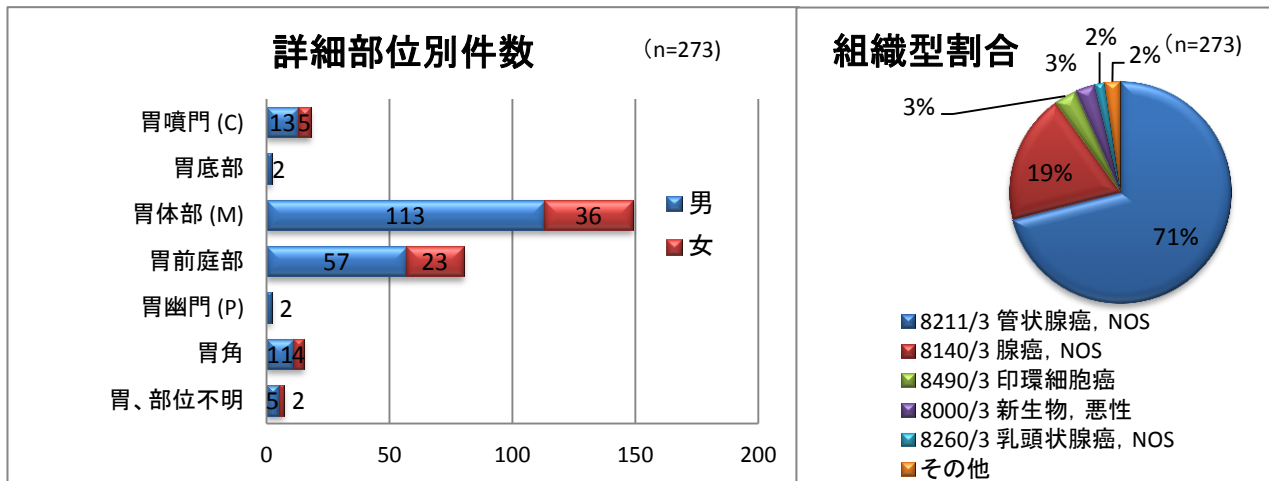
「自主」の割合が減少しており、「自院経過観察中」の割合が増加している。



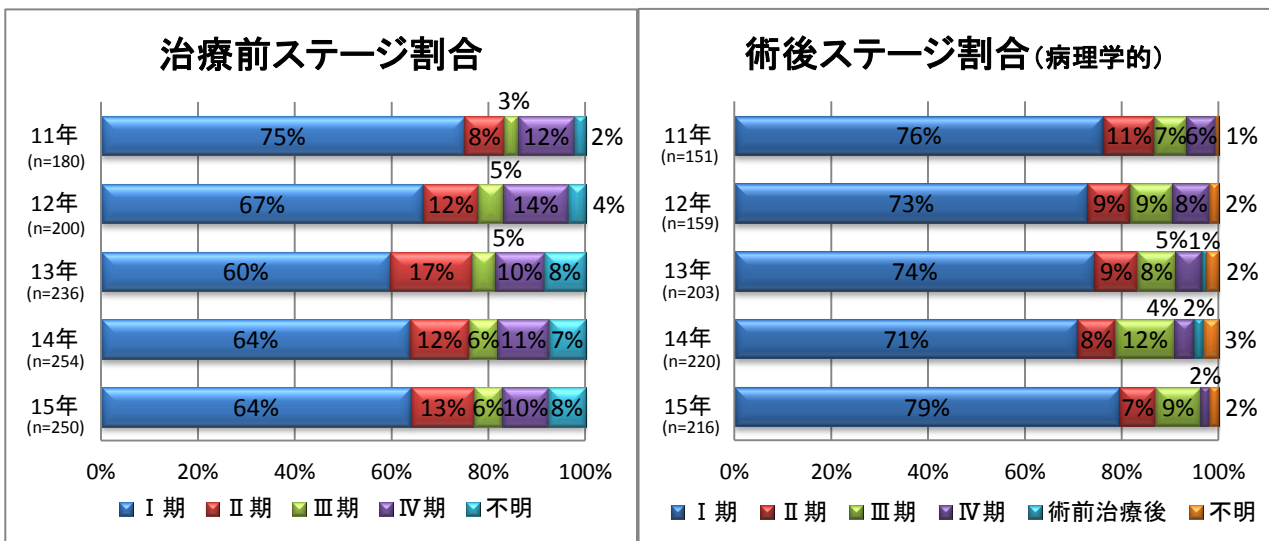
「他疾患経過観察中」の割合が増加している。



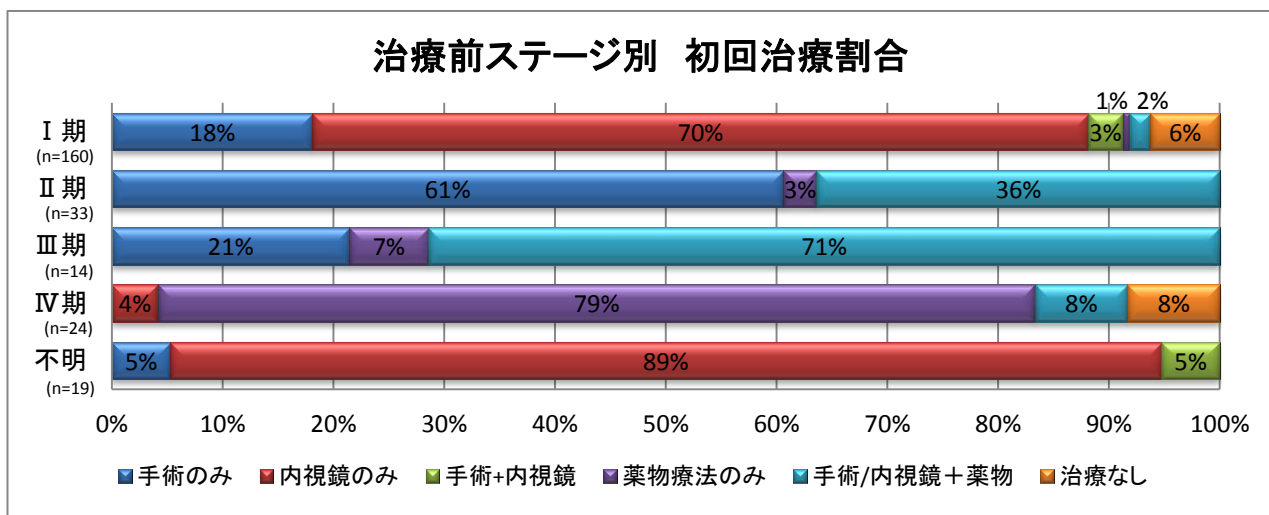
「自院診断・自院治療」の割合が年々増加している。



詳細部位は「胃体部(M)」の件数が特に多く、次いで「胃前庭部」が多い。



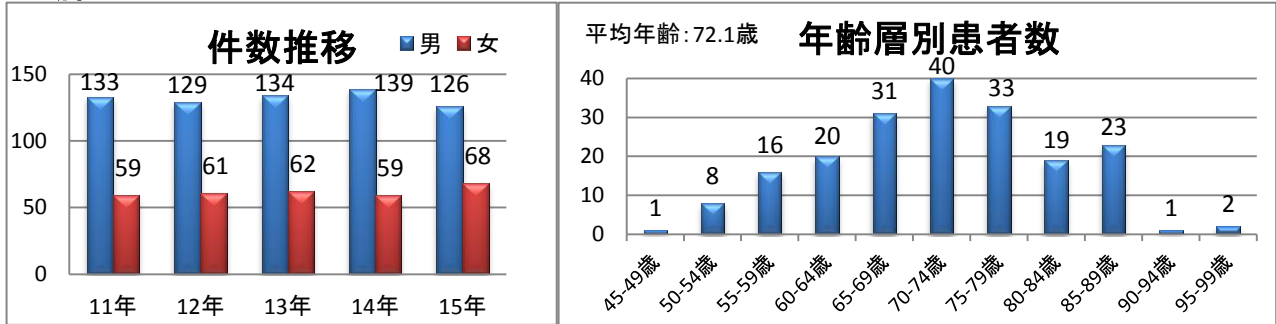
治療前・術後ステージ共に「I 期」の割合が高い。



I 期と不明は「内視鏡のみ」、II 期は「手術のみ」、III 期は「手術/内視鏡+薬物」、IV 期は「薬物療法のみ」の割合が高い。

Ⅲ. 2015年集計＜部位別＞

3. 肺



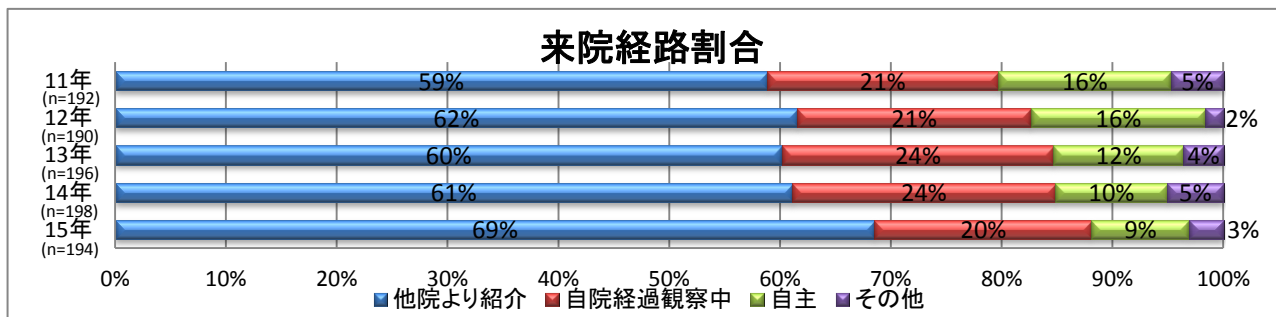
件数は男女共にほぼ横ばいとなっている。年齢層は65～70歳代が多い。

主な紹介元

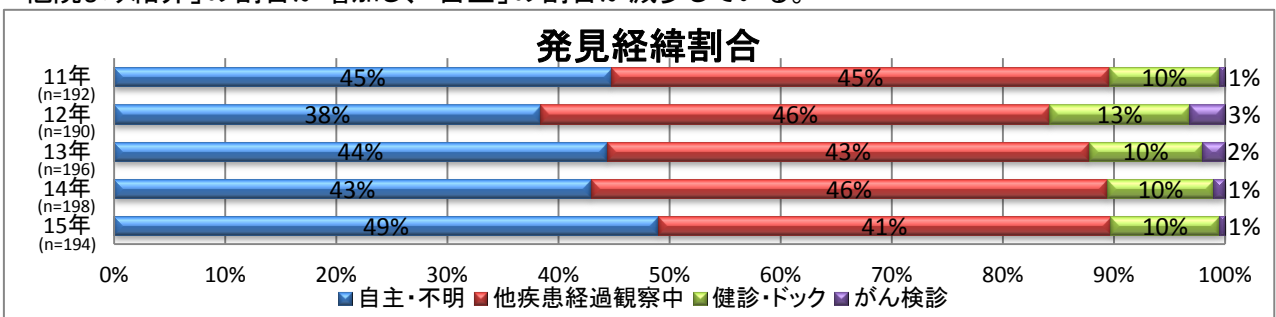
施設名	11年	12年	13年	14年	15年	計
手稲家庭医療クリニック	2	2	2	1	9	16
手稲いなづみ病院	5	4	5	7	8	29
石狩病院	3	4	10	6	7	30
小樽協会病院	2	4	5	1	6	18
菊地内科・呼吸器科	1	1	4	2	5	13
倶知安厚生病院		3	3	2	4	12
富丘まごころ内科クリニック	1		4	3	4	12

主な紹介先

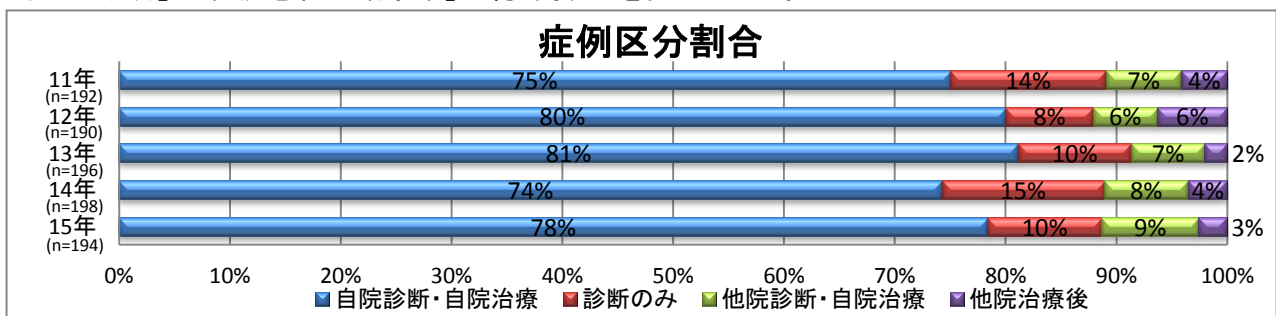
施設名	11年	12年	13年	14年	15年	計
手稲いなづみ病院			1	3	6	10
手稲家庭医療クリニック	5	1		1	2	9
中村記念病院				1	2	3
石狩幸慊会病院					2	2
北腎会脳神経・放射線科クリニック	3	1	2	3	1	10
イムス札幌内科リハビリテーション病院	1		1	2	1	5



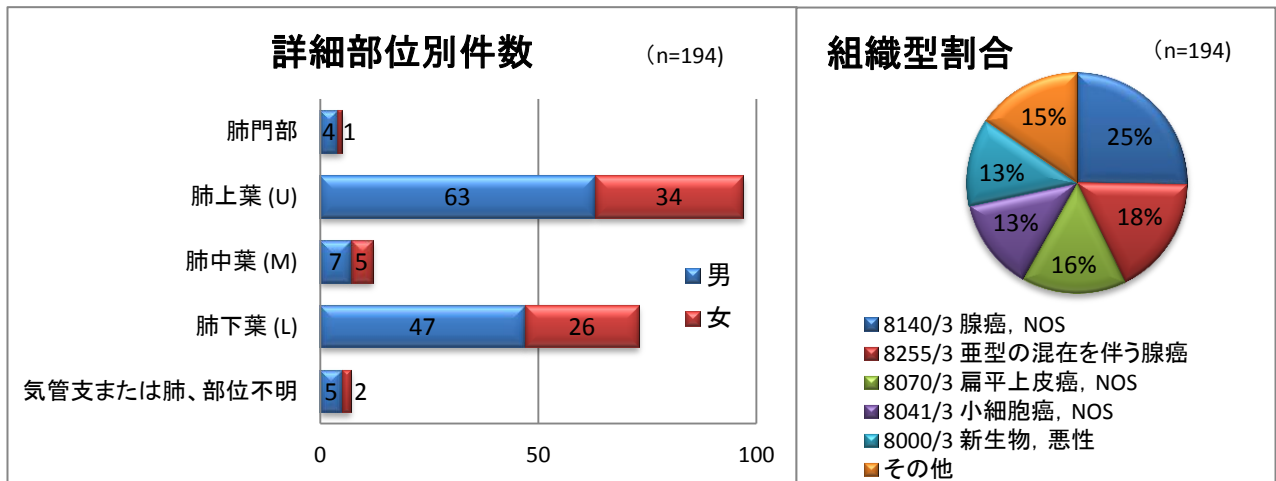
「他院より紹介」の割合が増加し、「自主」の割合が減少している。



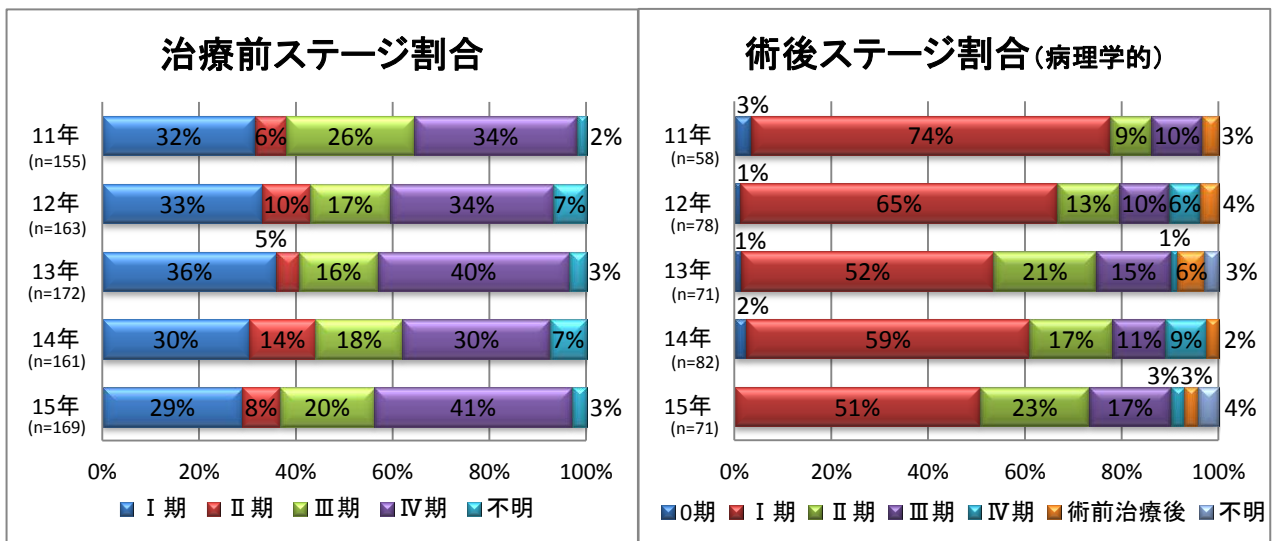
「自主・不明」と「他疾患経過観察中」が約5割ずつを占めている。



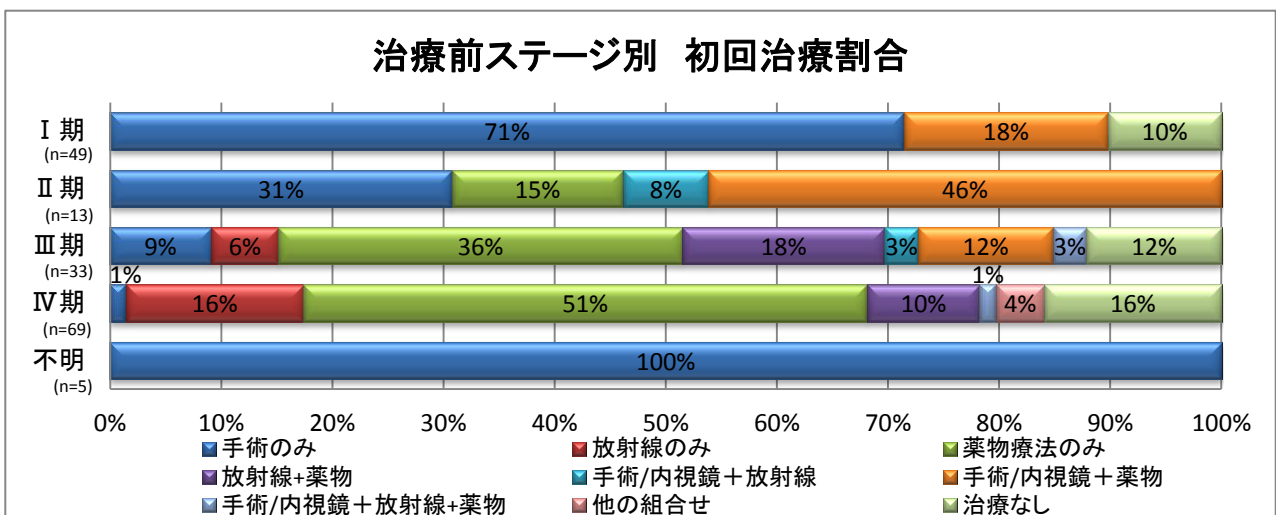
「自院診断・自院治療」の割合が高い。



詳細部位別件数は「肺上葉(U)」と「肺下葉(L)」が特に多い。
組織型は「腺癌」「扁平上皮癌」「小細胞癌」の大きく3つに分かれ、合わせて約7割を占めている。



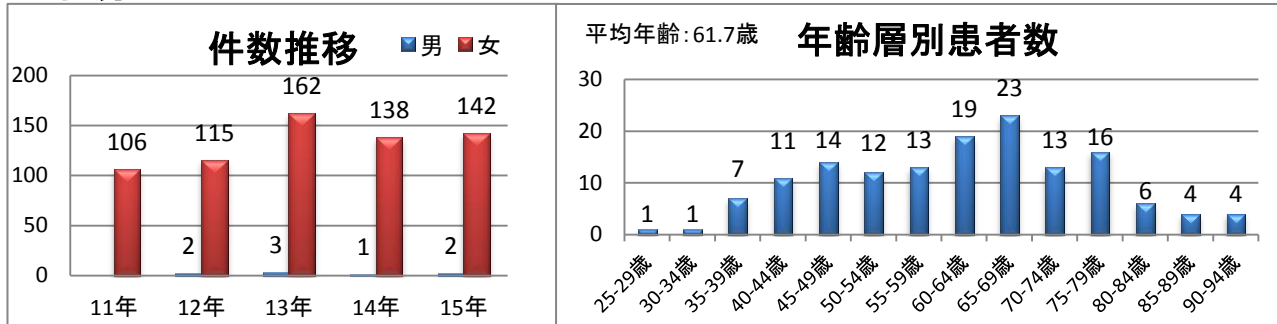
治療前ステージは「I期」と「IV期」の割合が高い。
術後ステージは「II期」と「III期」の割合が増加している。



I期は「手術のみ」が大半を占めるが、II期は「手術/内視鏡+薬物」の割合が高く、III期・IV期は「薬物療法のみ」の割合が高い。

Ⅲ. 2015年集計＜部位別＞

4. 乳房



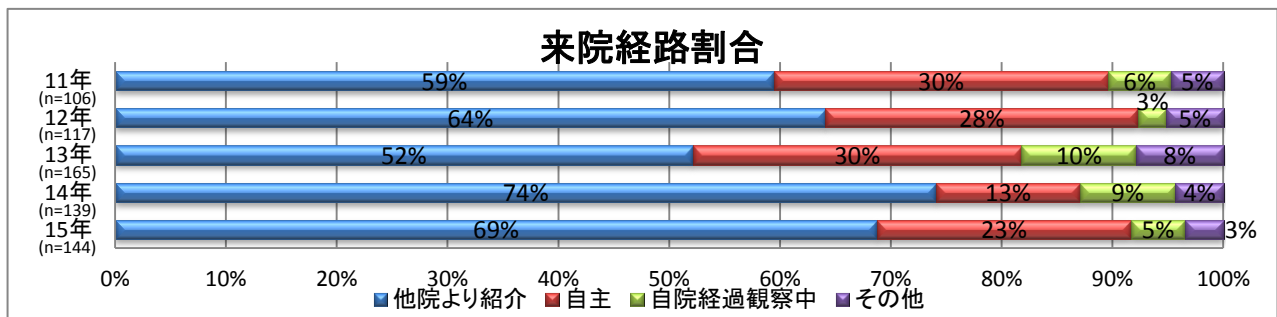
件数は14年と比較して差異がほぼ見られない。年齢層は40歳代から増加傾向にある。

主な紹介元

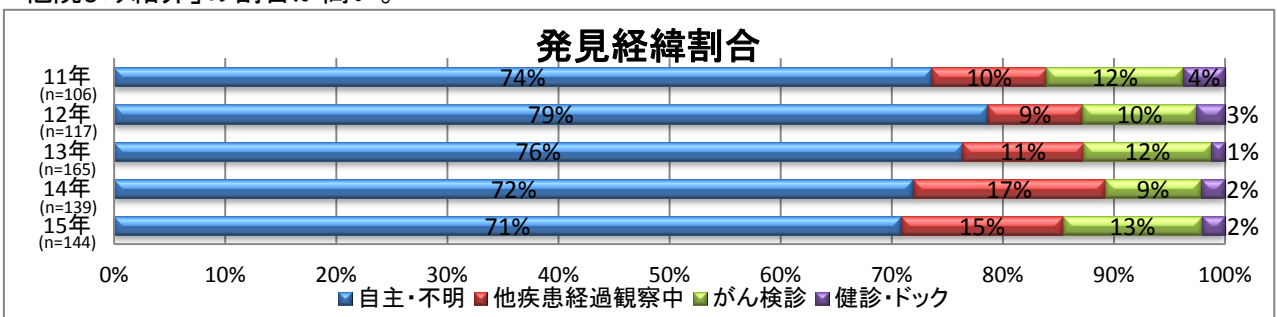
施設名	11年	12年	13年	14年	15年	計
札幌ことに乳腺クリニック	24	30	42	57	37	190
札幌乳腺外科クリニック	1	7	3	9	7	27
手稲溪仁会病院	3	3	6	3	4	19
わだ内科外科クリニック		2	3	2	4	11
麻生乳腺甲状腺クリニック		3	1	1	3	8

主な紹介先

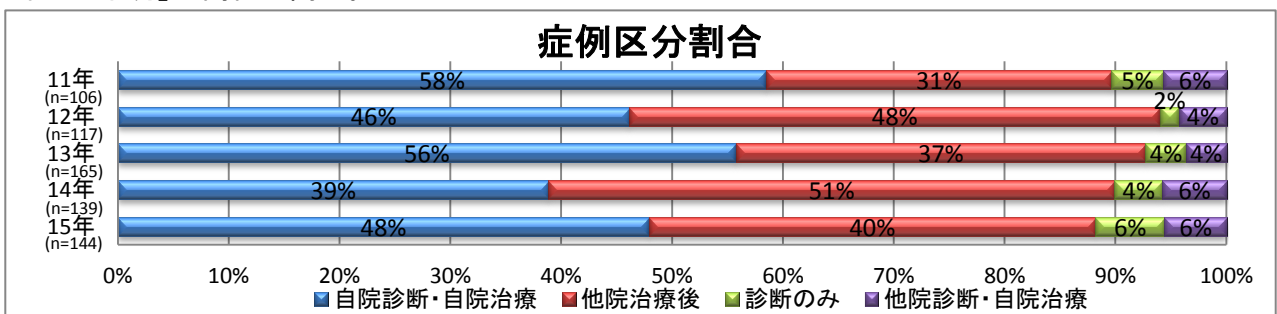
施設名	11年	12年	13年	14年	15年	計
札幌乳腺外科クリニック			1		2	3
札幌ことに乳腺クリニック	3		1	1	1	6
札幌駅前しきしま乳腺外科クリニック			1		1	2
愛育病院					1	1
北海道大学病院					1	1
札幌西円山病院					1	1



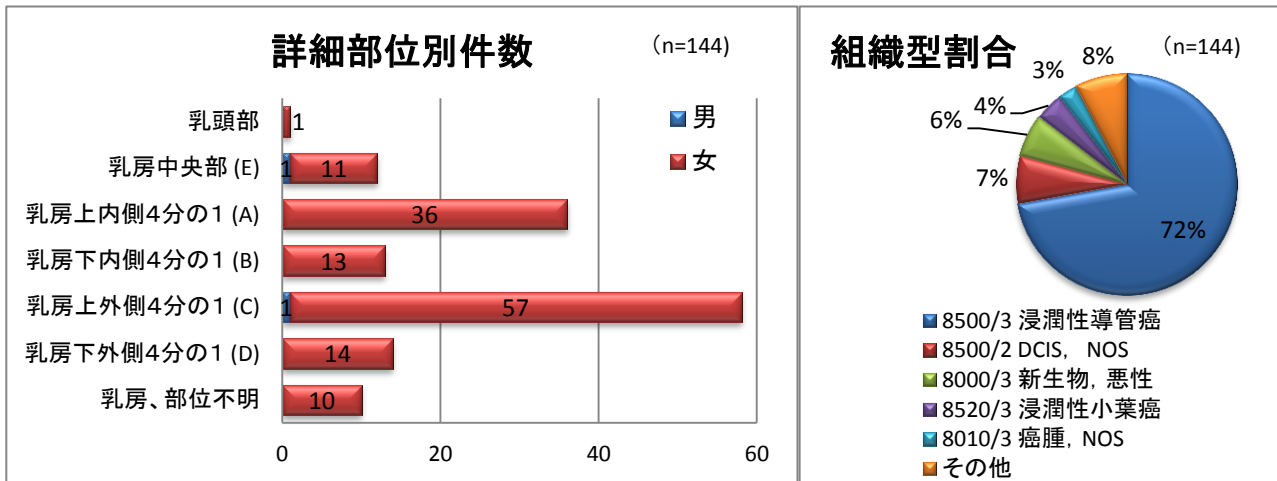
「他院より紹介」の割合が高い。



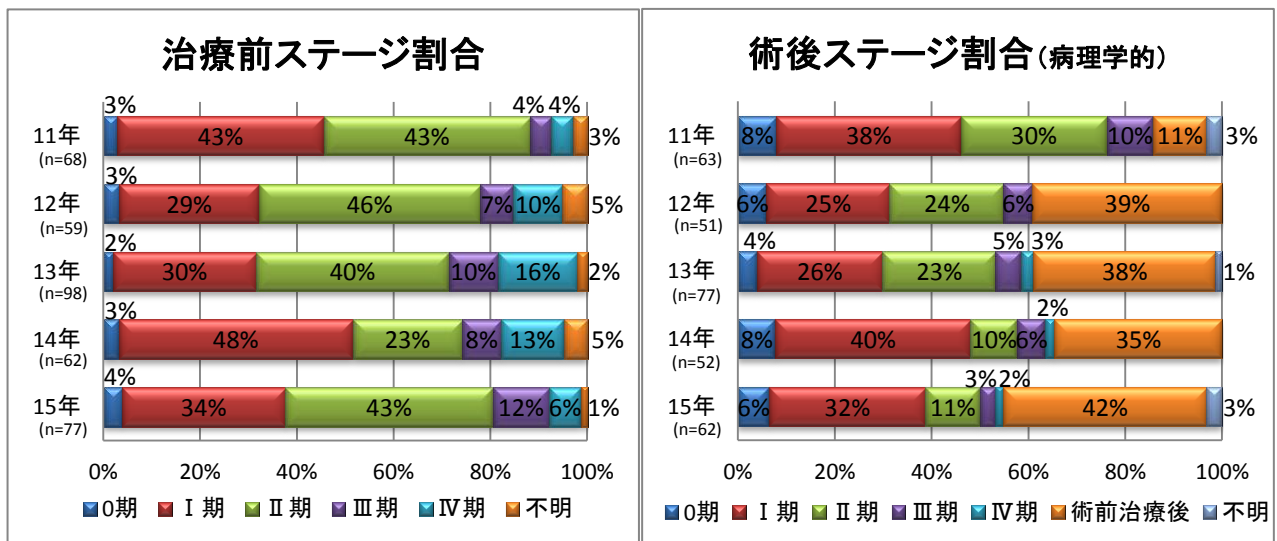
「自主・不明」の割合が高い。



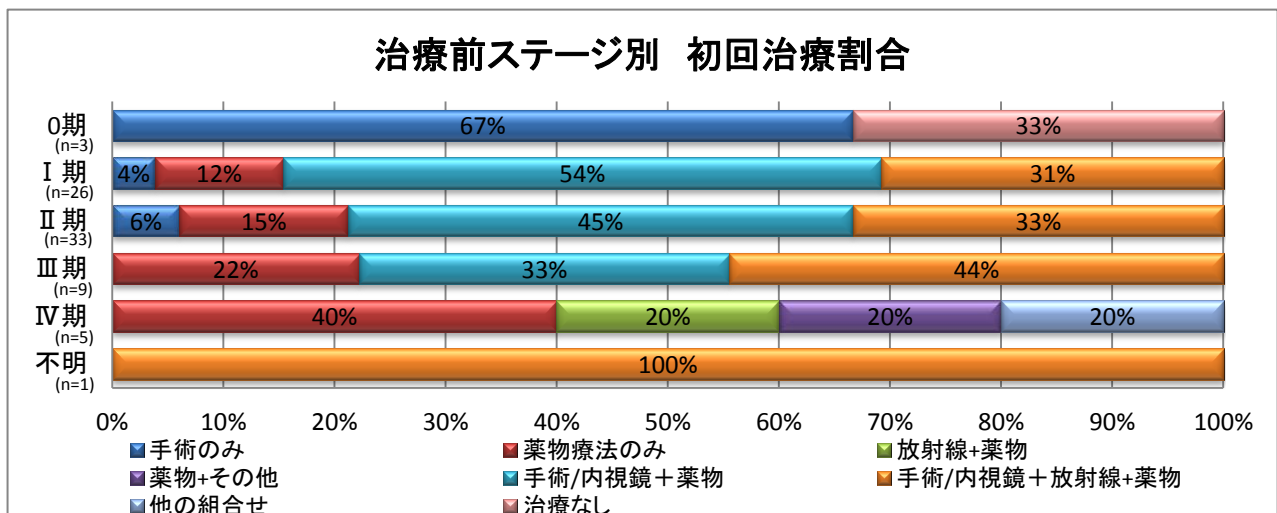
「自院診断・自院治療」と「他院治療後」の割合が高い。



詳細部位は「乳房上外側4分の1(C)」が多い。
組織型は「浸潤性導管癌」が大半を占めている。



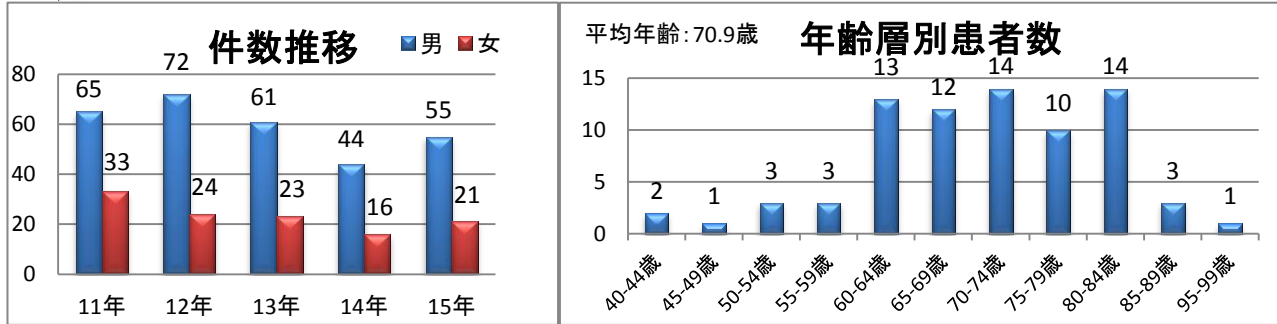
治療前ステージは「I期」と「II期」の割合が14年に一時減少していたが、15年には増加している。
術後ステージは「術前治療後※」が増加している。
※他院治療開始後に放射線療法目的にて当院に来院する症例が含まれる。



0期は「手術のみ」が約7割を占めている。I期・II期は「手術/内視鏡+薬物」、III期は「手術/内視鏡+放射線+薬物」、IV期は「薬物療法のみ」の治療の割合が高い。

Ⅲ. 2015年集計＜部位別＞

5. 肝



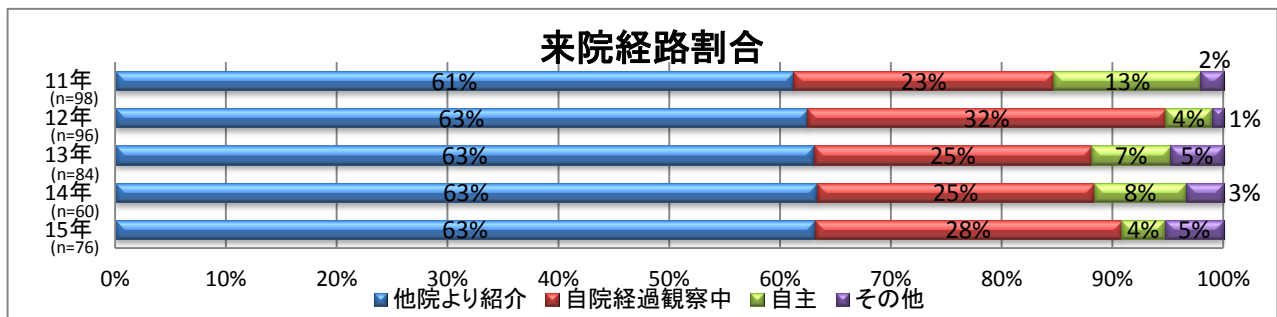
件数は14年までは減少傾向だったが15年では増加している。年齢層は60～80歳代が多い。

主な紹介元

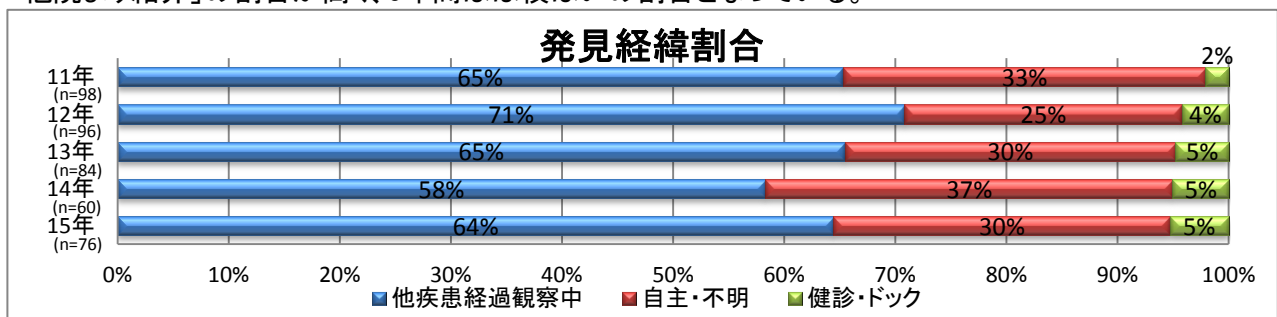
施設名	11年	12年	13年	14年	15年	計
小樽協会病院		1	3		4	8
倶知安厚生病院		7	5	1	3	16
札幌共立病院					3	3
手稲いなづみ病院	1	3	4	2	2	12
幸田内科消化器クリニック	3	2			2	7
帯広厚生病院		2			2	4
札幌新川駅前内科				1	2	3

主な紹介先

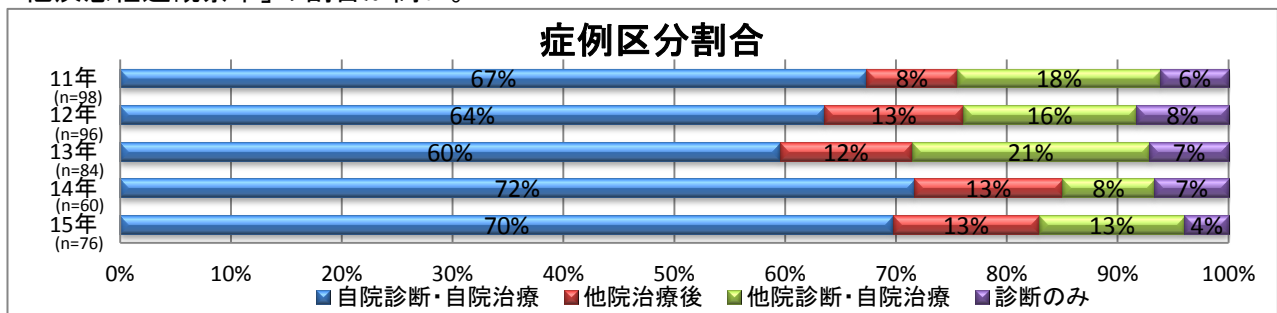
施設名	11年	12年	13年	14年	15年	計
佐々木整形外科医院					1	1
札幌山の上病院					1	1
市立稚内病院					1	1
北海道大学病院	1		1			2
おくの内科胃腸科クリニック	1					1
がん・感染症センター都立駒込病院		1				1



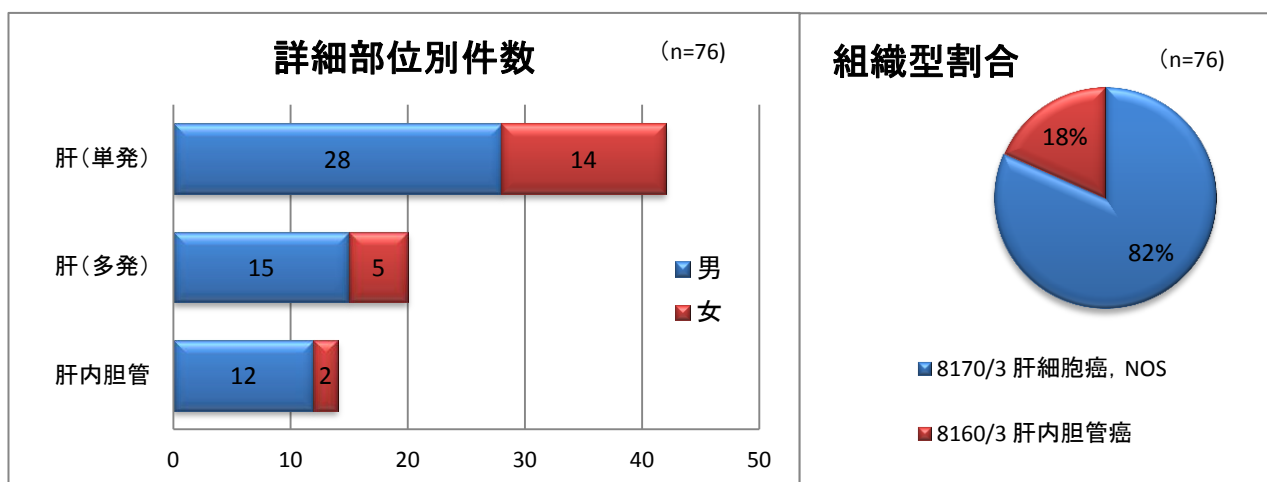
「他院より紹介」の割合が高く、5年間ほぼ横ばいの割合となっている。



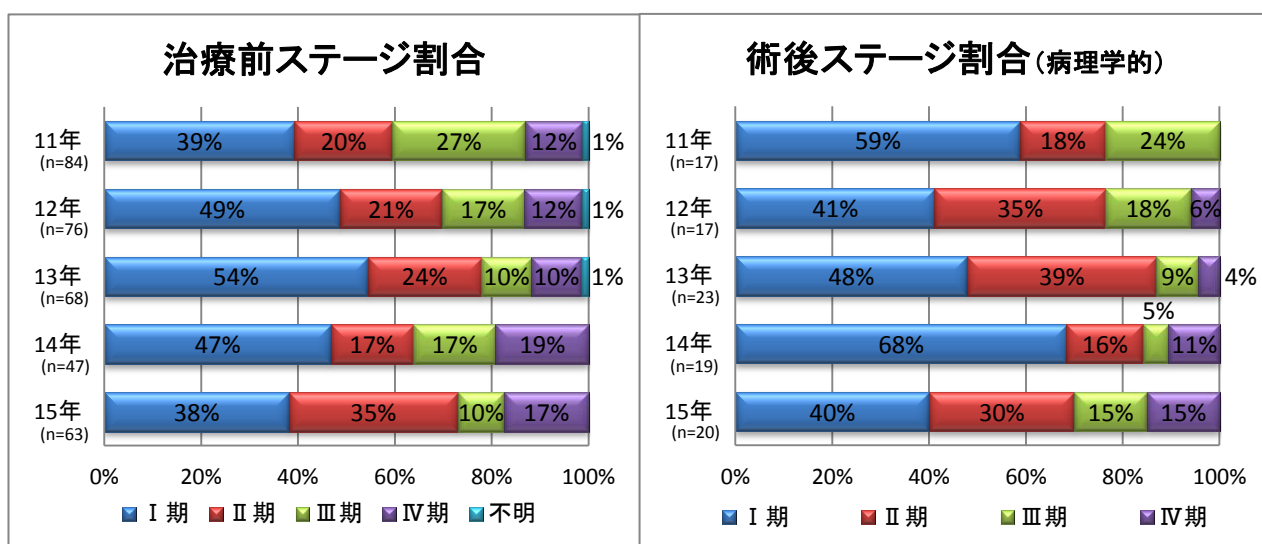
「他疾患経過観察中」の割合が高い。



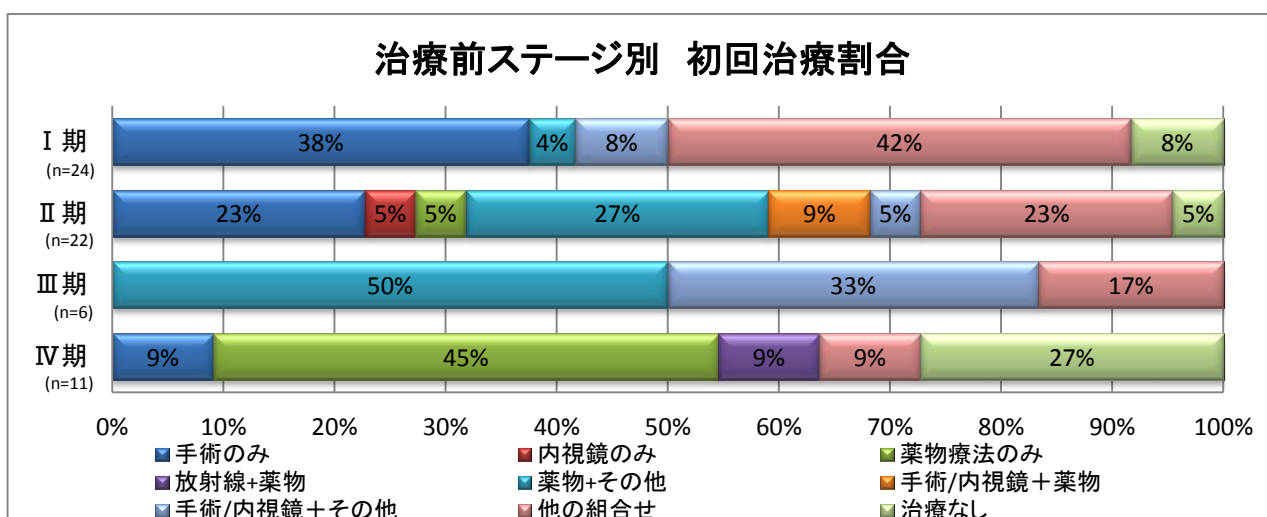
「自院診断・自院治療」の割合が高い。



詳細部位は男女共に「肝(単発)」が多い。
組織型は「肝細胞癌」が8割以上を占めている。



治療前ステージは「Ⅰ期」と「Ⅱ期」の割合が高い。
術後ステージは「Ⅳ期」の割合が増加している。



Ⅰ期は「手術のみ」の割合が高いが、Ⅱ期・Ⅲ期は「薬物+その他」、Ⅳ期は「薬物療法のみ」の割合が高い。